

### 被相続人居住用家屋等確認申請書

申請者住所 **岡崎市十王町〇丁目〇番地**

氏名 **岡崎 さくら**

電話 **090-xxxx-xxxx**

下記について確認願います。

下記家屋及びその敷地等は、当該家屋が「相続の時から取壊し、除却又は滅失の用に供され、貸付けの用又は居住の用に供されていたことがないこと」(租税特別措置法第55条第3項第2号イ)、当該敷地等が「相続の時から譲渡の時まで事業の用、貸付けの用又は居住の用に供されていたことがないこと」(同号ロ)及び「取壊し、除却又は滅失の時から譲渡の時まで建物又は構築物の敷地の用に供されていたことがないこと」(同号ハ)、当該家屋が「相続の開始の直前において当該相続又は遺贈に係る被相続人(包括遺贈者を含む。以下同じ。)の居住の用(居住の用に供することができない事由として政令で定める事由(※1)(以下「特定事由」という。)により当該相続の開始の直前において当該被相続人の居住の用に供されていなかった場合(政令で定める要件(※2)を満たす場合に限り。)における当該特定事由により居住の用に供されなくなる直前の当該被相続人の居住の用(以下「対象従前居住の用」という。)

申請者は相続した方です。

つながりやすい番号を記載してください。

家屋の閉鎖事項証明書のとおり記載。記載されていない場合や未登記の場合は、課税明細書等に記載された建築年を記載してください。

同条第4項柱書)及び「相続の開始の直前において被相続人以外に居住の用に供されていた家屋が対象従前居住の用に供されなくなる(同)通

売買契約書のとおり記載。複数ある場合は、対象となる全ての地番を記載してください。

家屋の閉鎖事項証明書のとおり記載。未登記の場合は、解体工事の契約書等に記載された取壊し日を記載してください。

申請被相続人居住用家屋及びその敷地等(※3)の所在地 (敷地の所在地番)	<b>岡崎市若宮町〇丁目〇番、△番</b>		
申請被相続人居住用家屋の建築年月日(※4)	昭和48年 〇月 〇日	家屋の取壊し、除却又は滅失の日(※5)	令和4年 8月 〇日
被相続人の氏名及び住所	(住所)	<b>岡崎市若宮町〇丁目〇番地</b> <span>亡くなった方の住所・氏名です。</span>	
	(氏名)	<b>男川 藤雄</b>	申請者からみた続柄 <b>父</b>
相続開始日 (被相続人の死亡日)	令和3年 10月 〇日	譲渡日(※6)	令和4年 9月 〇日
申請被相続人居住用家屋又はその敷地等の取得をした他の相続人の氏名及び住所 ※書ききれない場合は別紙	<input checked="" type="checkbox"/> 家屋	(住所)	<b>八帖 松恵</b>
	<input checked="" type="checkbox"/> 敷地等	(氏名)	<b>岡崎市康生町〇番地〇</b> <span>売買契約をした日ではなく、引き渡した日を記載してください。</span>
		(住所)	
		(氏名)	<span>申請者以外に相続人がいる場合に記載。法定相続人であっても、実際に相続をしていない人は記載しないでください。</span>

(※3) 申請被相続人居住用家屋及びその敷地等が、被相続人から相続又は遺贈により相続人(包括受遺者を含む。以下同じ。)が取得をしたものであること。

(※4) 申請被相続人居住用家屋は、昭和56年5月31日以前に建築されたものに限る。

(※5) 申請被相続人居住用家屋の閉鎖事項証明書に記載された取壊し等をした日(未登記の場合は解体工事の請負契約書等により確認した解体日等)を記載する。

(※6) 申請被相続人居住用家屋の敷地等の譲渡は、相続開始日から起算して同日以後3年を経過する日の属する年の12月31日までの間にしたものに限り。

### 被相続人居住用家屋等確認書

上記について確認しました。

※市区町村記入欄

確認年月日	年 月 日
確認を行った市区町村長	印